

業 種	自動車
取組分野	バス運転士確保への取組
テーマ	人材確保、教育・訓練及び人材活用の取組
取組の狙い	人材不足を乗り越え、持続可能な事業活動の推進を図るために、採用強化と中途退職防止を目的とした取組の推進を強化する。
具体的内容	<p>山陽バス株式会社は、バス運転士に占める割合が高い中高年世代の退職年齢が近づきつつあるものの、若い世代の採用試験応募者が中高年に偏っていることから、①人材確保のために採用活動と教習計画の見直し強化、②在籍している運転士の活用、③乗務系統数の検討を図ることにより、人材不足を乗り越え、持続可能な事業活動の推進に取り組んでいる。</p> <p>1. 人材確保のために採用活動と教習計画の強化</p> <p>(1) 採用者アンケートに基づく対応</p> <p>採用者へのアンケート調査を行った結果、募集を知った広告媒体の割合は HP が半数を占めており、求職者が自発的にインターネットにアクセスし、他の求人と比較検討していることを把握した。</p> <p>このため、HP には待遇等の条件面に加え、現役運転士の体験談、アドバイス等を掲載することにより敷居が高いと思われがちなバス運転士に対する応募者の不安を取り除くようにしている。</p> <p>(2) 運転免許取得者への PR</p> <p>兵庫県免許試験場内への求人広告、免許更新センター付近の電柱広告、その他自動車教習所などにもポスターを掲出している。</p>  <p>(3) 電鉄グループの活用</p> <p>グループ会社である山陽電鉄の駅及び電車内吊広告を随時掲出している。</p> <p>(4) 条件面の見直し</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 採用する運転士は、2004 年以降、原則として正社員採用 ② 2014 年から 5 年連続で初任給のベースアップ実施 ③ 低廉な自己負担で入居できる社宅及び单身社員用の寮を整備

- ④ 福利厚生充実の観点から入社祝い金制度の導入と入社時から
3日間の有給休暇を付与
- (5) 未経験者に対応した教習計画
未経験者の採用が増加しているものの安全性を下げることなく
向上させる観点から教習内容の充実化(下表参照)を図るとともに、
指導する運転士については勤続10年以上のベテラン運転士を選抜
している。
- これにより、標準で入社より出勤ベースで63日間程度の日数で
営業車の単独運行ができるようになっている。

日数	内容	詳細
6日間	座学	安全に関する事項、会社規定、運賃制度、非常事対応等
9日間	中型試走車での教習	バスの運転に関する基本事項の習得
10日間	中型営業車での教習	営業運転による運行、安全、接遇面の習得
5日間	大型試走車での教習	大型車運転での注意事項、運転感覚の習得
33日間	大型営業車での教習	営業運転による運行、安全、接遇面の習得
1日間	単独乗車可否試験	



2. 高齢運転士にとって働きやすい職場作り

(1) 高齢化に対応した定年制度

2011年度から60歳定年を65歳定年とし、定年後にも適性試験

	<p>の上、嘱託運転士として 70 歳まで乗務できる人事制度に見直したことにより、嘱託運転士が増加している。</p> <p>見直しにより、2019 年 7 月末時点において 355 人の運転士のうち、嘱託運転士は 23 人となっている。</p> <p>(2) 高齢運転士用の乗務系統の作成 拘束時間や乗務内容について、以下の事項に留意した高齢者用乗務系統を作成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 長時間拘束される勤務の割り当てを廃止 ② 深夜時間帯の運転業務を軽減 ③ 主に中型バス・送迎バス業務、市街地の路線を割り当て <p>(3) 健康状態、加齢による変化の把握 年 2 回の定期健康診断を実施する他、65 歳以上の運転士については、適齢診断を毎年実施することにより、加齢に伴う身体機能の衰え、運転時の反応速度など、身体機能が衰えたことによる変化に対応した運転行動について指導を実施している。</p> <p>(4) 家族の理解が得られるような働きやすい職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 有給休暇取得率向上 計画的な休暇取得を促すとともに、年間休暇数の起算日を入社日とすることにより、休暇取得時期が分散されるよう配慮し、また、休暇取得が言い出しやすい職場の雰囲気づくりに取り組んだことにより、有給休暇取得率は、ほぼ 100% となっている。 ② 男性運転士の育児休業取得 育児休業取得を促したことにより、延べ 17 人の男性運転士が育児休業を取得している。 <p>3. 乗務系統数の検討（仕事量の見直し） ダイヤを適宜見直し、利便性低下を最小限に抑えた範囲で一部減便等を実施している。仕事量を見直しすることにより拘束時間短縮を図り安全性の向上に取り組んでいる。</p>
取組の効果	<p>人材確保のための取組により、2016～2018 年度の 3 か年度で採用した 44 人の運転士のうち、退職者は 1 人のみであり高い定着率で推移していると考えている。なお、若年層の応募については、低調のまま推移しているが取組を継続していく。</p>
事業者名	山陽バス株式会社